

C1000シリーズ

AAS1011

取り扱い説明書

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 日野市旭が丘3-2-11

TEL 042-586-2933

FAX 042-584-0314

1. 概要と特長

AAS1011 は C1000 シリーズの C-Bus モジュールです。
アナログ音声信号のセレクトに適しています。

2. 構成

AAS1011 本体とコネクタモジュール RPC1010 または RPT1010 などにより構成されます。

- ・ AAS1011 本体
基板および補強を兼ねたシールド板と一体化したフロントパネルで構成されています。
- ・ RPC1010 コネクタモジュール (1600 タイプ仕様)
1600 タイプのコネクタを使用しています。
- ・ RPT1010 コネクタモジュール (フェニックスコンタクト仕様)
フェニックスコンタクトの端子台を使用しています。

3. 機能

1) 入出力数の組み合わせが変更できます。

- ・ 8入力1出力 1系統
多くの信号を選択するのに適しています。
出力は同じ信号を2分配出力しています。
- ・ 4入力1出力 2系統
入力数は多く必要ないが異種の信号の分配を行いたいときに適しています。

2) 外部リモート制御です。[リモートコントロールパネルが必要。]

外部リモートで入力信号およびモジュール (C1002 では最大8モジュール、C1001 では最大3モジュール) の選択が可能です。

注意：コネクタの種類によりモジュール格納枚数が異なります。

4. 調整方法

出力映像レベルの調整

- 1) オーディオアナライザなどを接続して下さい。
- 2) 出力信号を観測してフロントパネルの“GAIN”ボリュームで調整します。

5. 設置方法

- 1) C1000 シリーズのシャーシにおいて予め使用するスロットにコネクタモジュールを固定します
- 2) AAS1011 をスロットに挿入し奥まで差し込みます。
- 3) C1001 の使用時は抜け止め防止金具を起こします。
C1002 を使用時はフロントパネルで各モジュールは固定されます。

6. 入出力変更方法

1) 8入力1出力1系統

- ・ “JP1” を “8:1” のポジションにする。
- ・ SW1-1 “ON” SW1-2 “ON” SW1-3 “ON” にする。

2) 4入力1出力2系統

- ・ “JP1” を “4:1*2” のポジションにする。
- ・ (2系統連動モード時) SW1-1 “ON” SW1-2 “OFF” SW1-3 “ON” にする。
- ・ (2系統非連動モード時) SW1-1 “OFF” SW1-2 “ON” SW1-3 “ON” にする。

注意、 SW1-4 は、“OFF” でインターフェース (CIF1000、CIF1010) モジュール
対応となります。

(インターフェースモジュールを使用しない時は、“ON” にします。)

7. 主な仕様

1) 入出力信号

音声入出力数 4入力1出力2系統 (ステレオ対応)

または

8入力1出力1系統

基準入力信号 0dBm 600Ω 平衡

最大入力信号 +24dBm 600Ω 平衡

基準出力信号 +0dBm 600Ω負荷時 平衡

±4dB レベル可変

最大出力信号 +24dBm 600Ω負荷時 平衡

2) 基本的電気特性

f 特 ±0.5dB @20Hz~20kHz

1kHz 基準、基準レベル

歪率 0.05%以下 @20Hz~20kHz

S/N 80dB 以上 30kHzLPF

クストーク 70dB 以上 @10kHz +20dBm

CH 間位相差 ±5° 以内 @15kHz

入出力位相差 ±5° 以内 @1kHz

消費電力 約 3.4W